

エアトン先生から続く 東大電気系 140 年の営み

学生実験・五月祭・卒論研究のいま&むかし

～学生実験のいま & むかし～

三年夏学期はハンダ付けで始まるという伝統は今も生きています。

基礎課題は昔と変わらない？でも、今風の課題もちらほら。

～五月祭展示のいま & むかし～

本郷進学直後に、いきなり学術展示を任せられた五月祭…

五月祭展示部門で3年連続最優秀賞受賞。現役生の雄姿をご覧あれ。

～卒論研究のいま & むかし～

かつては、卒論配属は夏休み明けだった。今は4月に配属。

昨年の優秀卒論の幾つかをご紹介。一年間の研究成果です。

イベントの内容紹介：

例年東京大学ホームカミングデイイベントとして各種講演会・パネルディスカッションを行ってきましたが、今年は電気系同窓生のアイデンティティを再確認する意味で、

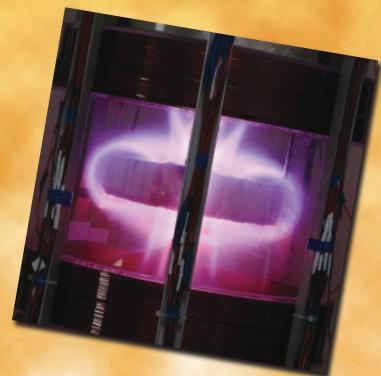
1) 140年に渡る電気系の営みを俯瞰

2) 今どきの学生実験・五月祭学術展示・卒論研究を、現役学部生の手で、同窓生の先輩方にお披露目

このような企画を用意しました。本イベントは、現役学生にとって父母、祖父母、曾祖父母世代に当たる同窓生と、現役学生との時代を超えた交流の場を提供します。



William Edward Ayrton



講 演 東大電気系 140 年の歴史を振り返る
(14:30 ~ 15:30 工学部 2 号館 4 階 241 講義室)

講演者 日高 邦彦 教授(東京大学)

プロフィール：

1976年東京大学工学部電気工学科卒業、
1978年同大学院電気工学専門修士課程修了、1981年同博士課程修了。工学博士。
その後、防衛大学校、東京工業大学を経て、
1987年東京大学工学部電気工学科講師に着任。1989年～90年、英国ウェールズ大学
カーディフ校学術研究フェロー。1997年より
現職、現在、東京大学先端電力エネルギー・
環境技術教育研究センター (APET) センター長を兼務。専門分野
は、高電圧工学、電力工学。学会では電気学会フェロー、第100代会長、
米国電気電子学会 (IEEE) フェローなど。英国電気学会 (IEE)
Duddell賞、電気学会論文賞、進歩賞、業績賞、静電気学会論文賞などを受賞。



2014 年 10 月 18 日(土)
13:00 ~ 17:00

イベント開催場所：

工学部2号館3階 電気系会議室

工学部2号館4階 電気系講義室、実験室

工学部3号館1階 実験室、「電気の回廊」

13:00~14:15 3号館1階「電気の回廊」見学 (ご自由にご覧下さい)

14:30~15:30 日高 邦彦 教授 講演会

15:30~17:00 実験・卒論・五月祭企画の見学会

総会 【時間】17:15 ~ 18:00
【場所】工学部 2 号館 4 階 241 講義室

懇親会 【時間】18:00 ~ 19:30
【場所】工学部 2 号館 3 階電気系会議室 1
会費:5,000 円 (同伴家族は無料)

2010年3月以降に学部卒業の方は2,000円
*会員サイトまたは同封の用紙にて出欠をお知らせください。